

2520 地区協議会 財団・国際 合同研修会

次 第

	司会進行	山下晴輝	
1. 開会			
2. 財団研修(メッセージ動画)	伊藤智仁		45分
3. 休憩			10分
4. 財団関係委員会紹介			20分
● 地区財団委員会	山下晴輝		
● 補助金小委員会	吉田和洋		
● 補助金管理委員会	和田剛和		
● 資金推進・大口寄付・恒久基金小委員会	日向雅之		
● ポリオプラス小委員会	菊地茂樹		
● ロータリー平和フェローシップ・学友小委員会	梶浦 正		
5. 国際委員会紹介 並びに メンバー自己紹介	國分敏彦		5分
6. 講評	PDG 小野寺則雄・ PDG 松良千廣		10分
7. 閉会			

地区財団研修会

委員長伊藤智仁(花巻南 RC)

本日は、次年度クラブで財団の役を担う皆さんにお集まりいただき有難うございます。

社会は、多種の^{なりわい}生業によって構成しており、人々の生活を、より幸せなものにする為に、総ての生業は、健全かつ高潔な経営に励み、社会に役立つ存在にならなければなりません。

ロータリーで扱っている「奉仕」は、英語でサービスと記されています。とかく、日本人の感覚でサービスというと「お負けして」「何か付けないの」 挙句に「貰ってもいいですか」など 私もそうですが、甘えてすぎる、若しくは、タカリに近い言葉として発する場面をよく見かけます。

この感覚で、奉仕する側の立場になれば、奉仕は、無償でモノを提供するといった感覚を持ってしまって当然です。

一方、レストランやホテル・旅館において、「此処のサービス、最高でした」と言う場合は、その職場が提供した仕事に対する満足感の表しとして使っています。

一般に、「仕事の話」を金儲けと重ねて考えるので、卑しく捉える傾向があり、この切り口で話題にすることを、何となく避けてしまいます。

しかし、皆さんが例会で歌うロータリーソングのタイトルに、「我らの生業」があります。その中で「力るところは向上奉仕」と歌います。また、「奉仕の理想」では、「御国に捧げん我らの生業」と歌います。

このように、英語でいうサービスの意味は、ロータリーソングにも生業として、明らかに含んでいます。

国歌や校歌・社歌などの短い歌詞中に思いを凝縮して盛り込むことに倣えば、ロータリーにおいても^{なりわい}生業がとても重要なキーワードであると思います。

これらのことから、ロータリーでいう「奉仕」とは、「仕事を通じた社会貢献」であると、私は考えています。

こうした整理がつくと、ロータリーの様々なプログラムは、一人一人のロータリアンが、其々の分野でリーダーシップを発揮し、立派なサービスを提供が出来るようにして社会貢献していることが解ります。

さて、ロータリーには、2つの組織があります。

ひとつ目の組織、国際ロータリー(RI)は、良き社会をつくるため、生業の^{てっぺん}天辺で舵取りをする人のリーダーシップ育成に努めています。勿論、生業の天辺で舵取りをする人とは、我々ロータリアンのことです。

優れたリーダーが、人々に喜ばれる仕事をすれば、その事業は概ね成功します。

ただし、成功できた理由の一つに、自分の事業を評価してくれた社会の存在があることを、欠かしてはいけません。後ほど説明しますが、ここが非常に大事なポイントです。

ふたつ目の組織、ロータリー財団(TRF)は、国際ロータリーの取組により実現出来たロータリアンの関係する事業の成功が、社会が評価してくれたお蔭で成しえた結果と捉え、これに報いる行動として、ボランティア型の社会奉仕をします。

ロータリー財団が行う社会奉仕のイメージは、目先で困っている人や弱者の環境改善を正すというより、将来、彼等が社会で活躍できる可能性に期待した支援です。

やがて、育った人材は、その地域のみならず、世界に幸せをもたらす人物になるかもしれません。

そもそも、基本的な社会環境の改善は、国民の生活を守る立場にある各国政府が責任をもって行うべきものです。仮に国家が出来なくとも代わって支援する団体は沢山あります。

私は、ロータリーが「ロータリアンの人材」と「奉仕先の人材」の二つの人材育成を通じて、良き社会を目指している団体であると考えています。

この後は、パワーポイントにて今の話題に加え、ロータリー財団や補助金のポイントを説明します。



RI 2520地区 財団委員会 国際奉仕委員会

日時：2025/5/11 13：00～

場所：仙台育英学園高等学校宮城野校舎

1

1

本日の話題

1. 松下幸之助翁に学ぶ社会奉仕
2. 2023-24年 ロータリー財団（TRF）の概要
3. 地区財団活動資金（DDF）を配分する仕組み
4. 地区補助金（DG）について
5. 地区補助金以外の地区財団活動資金(DDF)について
6. グローバル補助金（GG）について
7. 今日のおさらいとこれから

2

2

松下幸之助翁の略歴

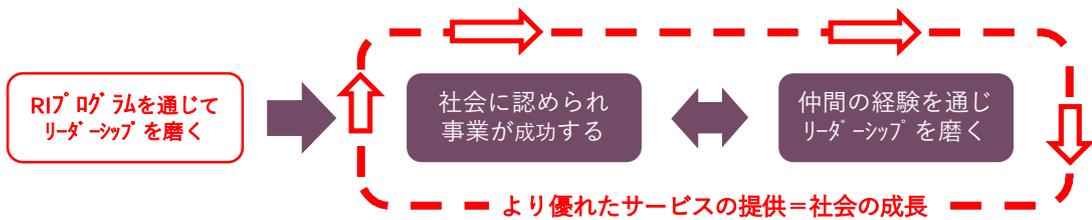


- 1894年（明治27年）和歌山県生まれ
9歳で大阪の奉公に入り商人の基礎を学ぶ
- 1918年（23歳）松下電気器具製作所設立
二股電球ソケットが大ヒット
社名を松下電器産業に変えテレビ・洗濯機・冷蔵庫
など家庭電化製品を社会に送り出す
- 1946年（52歳）PHP研究所を設立。
倫理教育や出版活動を通じて社会の発展に寄与
- 1953年（59歳）大阪ロータリークラブ入会
- 1979年（85歳）松下政経塾を設立。
次世代のリーダー育成に尽力。

3

3

(RI)
国際ロータリー



(TRF)
ロータリー財団

職場提供による収入の獲得
収入を裏付けとした生活環境の改善
教育環境の改善による人材の高度化
自分たちで支える地域と活性化

社会がくれた
恩に報いる

4

4

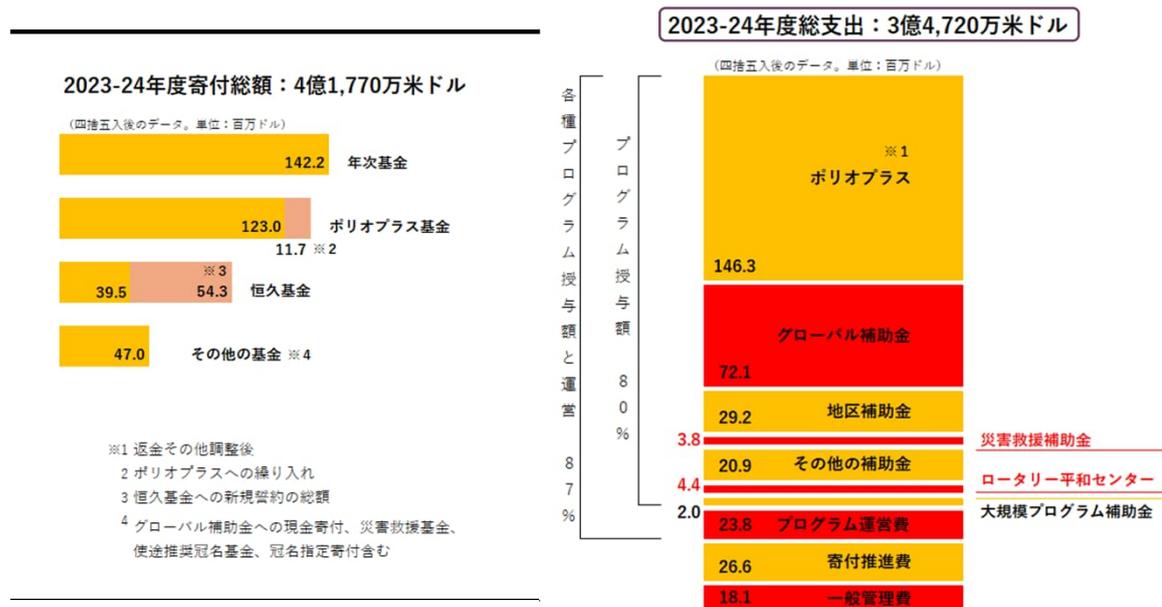
寄付の概要	2023-24年度	累計
年次基金	1億4,220万ドル	35億ドル
恒久基金	3,950万ドル	5億6,870万ドル
ポリオプラス基金	1億2,300万ドル	23億ドル
その他※1	4,700万ドル	4億6,470万ドル
現金寄付合計	3億5,170万ドル	68億ドル
恒久基金への新たな誓約合計	5,430万ドル	9億8,260万ドル
ポリオプラスへの繰入※2	1,170万ドル	
総ての合計	4億1,770万ドル	
各種プログラム授与金と運営	3億 250万ドル	1947年以来：61.5億ドル

※1 グローバル補助金への現金寄付、災害救援基金、使途推奨冠名基金、冠名指定寄付含む

※2 地区財団活動金の繰入及びその成果としての国際財団活動資金からの上乗せ、提携クレジットカードの使用料、使途推奨冠名基金のポリオプラスへの繰入。WFからの繰入金420万ドルは含まれない

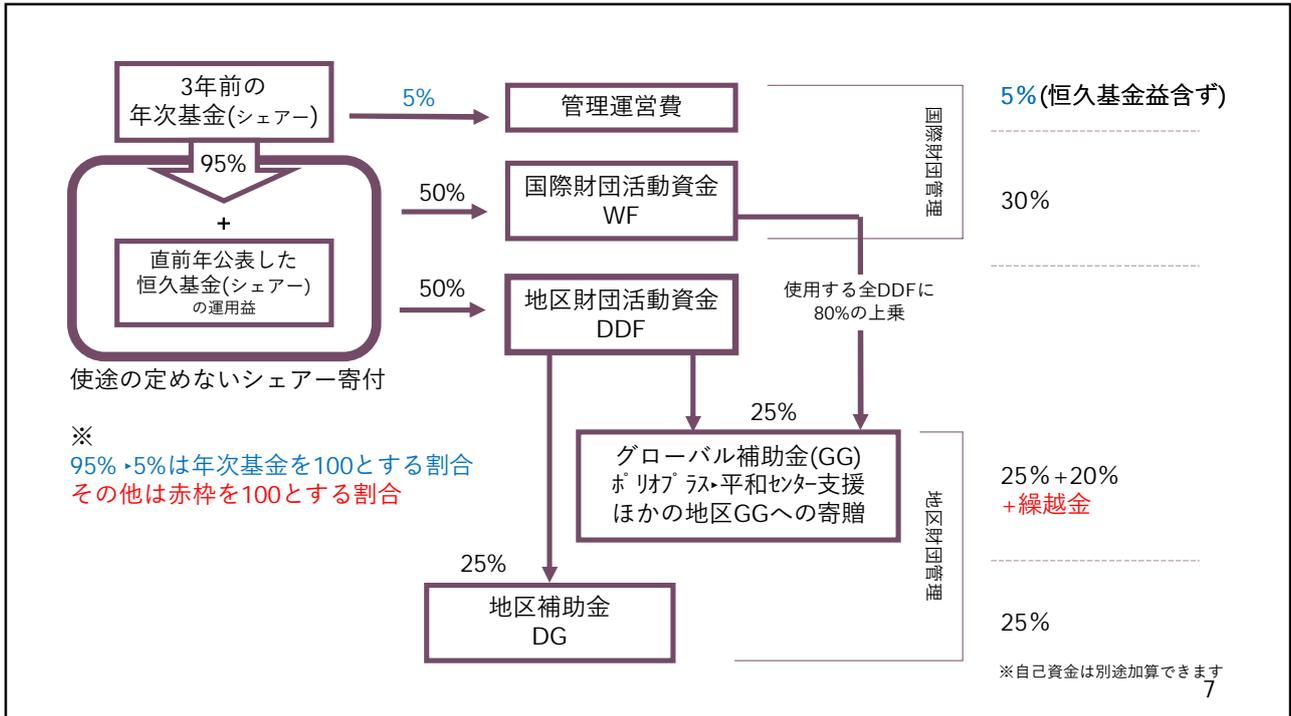
5

5



6

6



7

	3年前	2年前	直前年(計画)	実施年	
	④	③	②	①	
恒久基金 運用利回り(%)	2020-21 -1.8	2021-22 30.5	2022-23 -9.7	2023-24 8.1	2024-25 12.0
地区補助金(\$)	44,239	49,517	44,130	50,672	44,690
参考 @150	663万円	742万円	661万円	760万円	670万円

8

8

地区補助金DG(地区財団活動資金) その1

受領資格のある主な活動：

- 補助金管理セミナー
- ローター青少年交換、RYLA、ロータリー友情交換
- インターアクトプログラム・ローターアクトプログラム
- 地元や海外での比較的規模の小さい短期的な奉仕プロジェクト
- レベルを問わない奨学金（平和センターに類するものは除く）
- 専門職業従事者による職業研修チームでの特定分野の探求
- 奨学生と職業研修チームのオリエンテーション

※申請は毎年1回、地区で取りまとめて行います。

9

9

地区補助金DG(地区財団活動資金) その2

地区申請受付：実施前年度2月末日迄に地区に申請

地区補助金(DG)該当事業の変更について

- 早期計画出来る「補助金セミナー・長短青少年交換・RYLA・インターアクト事業」に地区補助金を活用
- クラブの自主財源事業に公共イメージを勘案した支援(些少額)
- クラブ支援は「地区補助金残枠」と「切替えした地区資金枠」で対応し、内容に応じて適応先を判定

※上限ある地区補助金は、応募多数になることで帳尻合わせに苦勞する。

10

10

地区補助金以外の地区財団活動資金

グローバル補助金(予算3万ドル~/DDFにWF80%上乘あり)：

- 7つの重点分野の一つ以上に関連すること。
- 人道的プロジェクト、専門的な研修を提供したり受けたして地域社会のニーズに取り組む職業研修チーム。
- 1~4 学年のフルタイムの大学院レベルで1年以上の教科履修・研究のための留学用奨学金。

地域社会調査の結果に基づき、実施地の地域社会と協力して立案されたものであること。
補助金を使い尽くされた後も、実施地の地域社会が引き続き取組める持続可能性があり、測定可能であること

ポリオプラスや平和センターの支援：ロータリー財団が実施する特定事業への支援

ほかの地区への寄贈：他地区が提唱者であるGG事業への支援

11

11

グローバル補助金

- 申請はマイロータリー補助金センターで随時受付
- 補助金管理セミナーの受講(MyRotaryも可)
- クラブ・地区とも代表提唱者として持てる未終了の補助金は10口まで
- 18歳未満の海外渡航は出来ません
- 奨学金は大学院レベルで支給期間は1年以上、8・9・10月の留学は6月30日迄に申請
- ロータリアンの職業研修チームは提供側
- 補助金受理後の中間報告は12ヶ月以内ごと、活動完了の最終報告書は2ヶ月以内

地区で使用可能なDDF	2020-21	2021-22	2022-23	2023-24	2024-25
年次基金	81,840	92,139	80,794	94,426	82,350
恒久基金運用益	6,637	6,894	7,466	6,916	7,028
繰越	204,558	91,724	51,370	28,787	36,627

12

12

本日のおさらい

寄付意欲を高めるの啓蒙（社会の恩に報いる）

クラブ奉仕：ロ-列アン同士による相互研鑽

職業奉仕：職業価値の向上

社会奉仕：職業価値の発揮

青少年育成事業を地区補助金で！
公共イメージを狙ったクラブ事業支援

2025-26 地区補助金セミナー：8月30日実施

13

13

聴講いただき大変ありがとうございました。

14

14

地区ロータリー財団委員会

委員長 伊藤智仁（花巻南）
副委員長 山下晴輝（仙台南）
副委員長 水野暢大（塩釜）
地区幹事 島田博雄（仙台）

資金推進・大口・恒久基金小委員会

委員長 日向雅之（仙台青葉）
副委員長 高橋克幸（古川東）
副委員長 安藤敏樹（盛岡西北）
副委員長(Rカード担当) 夏目雅貴（仙台冠）

補助金小委員会

委員長 吉田和洋（花巻）
委員 菅原慶一（佐沼）

ポリオプラス小委員会

委員長 菊地茂樹（仙台北）
副委員長 山下望（仙台北）
委員 早坂慎一（仙台南）

補助金管理小委員会

委員長 和田剛和（仙台）
副委員長 時準雄（仙台泉）

ロータリー平和フェロシフ®・学友小委員会

委員長 梶浦正（仙台レインボー）
副委員長 齋藤勝則（栗駒）
地区幹事 佐藤勘三郎（仙台）

15

15

地区国際奉仕委員会・国際大会委員会

委員長 國分敏彦（二戸）
副委員長(友好地区担当) 高橋孝一（柴田）
副委員長(R友情報広場担当) 梶浦正（仙台レインボー）

日韓親善委員会委員長 桑原茂（塩釜）
日韓親善委員会委員 水野暢大（塩釜）

On to TAIPEI 柴田茂（盛岡東）
On to TAIPEI 原田誠章（盛岡東）

委員 佐藤芳郎（塩釜）
委員 地紙正和（古川東）

16

16